

学校関係者評価報告書

愛媛県立松山商業高等学校
学校番号(26)

評価実施日	平成31年2月26日(火) 15:00~16:30		
委員	氏名	所属等	備考
	金井マキ	旭町自治会役員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	楠本雅人	松山市教育支援センター教育指導員	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	藤島寛昌	ロープウェイ商店街「ギャラリー絵夢」社長	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	藤岡大輔	ホルモン村二番町店代表	学校評議員 兼 学校関係者評価委員
	田村有希	全日制PTA会長	学校関係者評価委員
	田中雅樹	全日制PTA副会長	学校関係者評価委員

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<p>1 今年度の最終評価について</p> <p>(1) 学習指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 学力や資格取得数は大変な頑張りで素晴らしい結果を出している。特に簿記の1級合格者が多く、今後も商業高校の特色のある魅力ある指導でお願いしたい。 先生方は生徒に対して熱心に指導してくれている。今後も生徒を育てる意欲を前面に出し、教師のプライドを持ち責任を果たしてほしい。 <p>(2) 進路指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 進学、就職ともにほぼ100%生徒の進路希望を実現できていることは、素晴らしい。 今年度は昨年に比べて国公立の合格者を増やすことができている。この調子で来年度の地域ビジネス科においても国公立への進学の実績を出してもらいたい。 <p>(3) 生徒指導</p> <ul style="list-style-type: none"> 清掃活動も積極的に取り組んでおり、先生の適切な指導がうかがえる。 気持ちの良い挨拶もできている。 <p>(4) 特別活動</p> <ul style="list-style-type: none"> 部活動とのバランスを考えながら学力向上に努めてもらいたい。 学校行事は、生徒と先生がよく盛り上げており、素晴らしい。 門前まつりでは教室で学べないことを学んでいるので、今後も行政と地域とが一丸となって取り組むことが大切である。 野球部の生徒への評価が高いので時代に応じた行動や指導が臨まれる。 <p>2 学校運営への提言</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療系に進学している生徒が多いので、スポーツと経営を学習できる学科を新設したらどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> 資格取得に対する生徒の意欲を喚起するとともに、補習授業等の充実を図る。 アクティブラーニングや電子黒板等のICT機器の効果的な活用方法について、さらに研修に努め、授業に取り入れる。 キャリア教育の充実や学力向上に努め、生徒の希望する進路の実現を図る。 実習での学びが進路実現に生かせるよう事後指導を充実させ、新学科、地域ビジネス科の出口の保証に努める。 自ら率先して活動できることが重要であることをあらゆる機会を通して生徒に徹底する。 生徒が学校行事に主体的に取り組めるよう、さらに創意工夫を図る。 ボランティア活動の意味を理解させ、自ら積極的に取り組める生徒を増やす。 地域で必要とされる学校となるよう信頼回復に努める。 県立ではスポーツ等における生徒募集には限界があると思われる。

定時制

評価・提言等	提言等に対する改善方策等
<ul style="list-style-type: none"> 多様な生徒に対応した分かりやすい授業の実践やきめ細かな面談等の取組が行われている。 出席率は高いが、皆勤者の割合が、昨年度より低くなっている。 「保護者や教員、生徒との交流」について評価が昨年度より高くなっているが、さらに工夫をしていただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 中学校で欠席の多かった生徒や他校を退学して学び直しをしている生徒が多いことを踏まえ、今後とも安心して学校生活を送ることができる環境を整備していく。 登校することの大切さについて、全教職員が指導し、出席率の向上を図っていく。 ホームページで生徒の生き生きとした活動が伝えるように更新頻度を増やす。 各種行事で保護者に参観していただけるものを増やし、保護者との連携を深める。